

「輝く雪」のまち

ぬまた町

みんなの議会

2018年2月
第72号

今年もよろしく!!



平成29年 第4回定例会

2

認定こども園の入園希望者増加に対応！子育て支援に1,429万円を議決した。

小峯議員の一般質問

5



北いぶき農協ではハウスの新規導入・更新の助成を計画している。町の誘導と助成を求めた。

所管事務調査報告

9

総務民教常任委員会は町内の施設の利用状況と実態を調査し意見を示した。

平成29年 第4回定例会 12月18日～19日

12月18日第4回定例会が開かれました。

上程された主な議案

- 指定管理者の指定
指定管理期間5年
- ・ スコアセンター他
ほたる館などの施設の指定管理者をシダックス大新東ヒューマンサービス(株)としました。
- ・ 沼田自動車学校他
(株)沼田開発公社としました。

◎ 条例の改定

- ・ 町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 沼田町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

◎ 29年度補正予算

平成29年度予算に8956万円を追加し歳入歳出予算の総額を50億8229万円としました。

〈主な内容〉

- 移住定住心援費 972万円増
- ふるさと納税関連費 2940万円増
- 子育て支援事業費 1429万円増
- 農産加工場製造費 1727万円増
- 商工業振興基金費 258万円増
- 振興基金費 1285万円増
- 職員費 400万円増

平成30年
第1回臨時会
1月11日

◎ 平成29年度一般会計補正予算

予算に2233万円を追加し歳入歳出予算の総額を51億641万円としました。

〈主な内容〉

- 高齢者世帯福祉灯油助成事業 174万円増
- 経営体育成支援事業補助金 478万円増
- 町道除雪業務委託料 1500万円増



排雪

傍聴席の生の声

30代男性
スキー場についての町長の考え方も聞きたかったです

傍聴席の生の声

30代男性
スキー場について維持だけではよくならないと思います。時代の先を走る沼田町として前向きに考えてほしいと思います。沼田の子供だけでなく世の中の子供も守る沼田町になってほしい。



今回の定例議会の傍聴者は、**12名**でした。
みなさまの傍聴をお待ちしています。

表紙の写真



初売りミカンまき

穏やかな年明けとなり好天の中で行われました。今年もよい年でありますように。

安心センターの梁にひび

議会全員協議会より

昨年(2019年)の12月27日に「くらの安心センター」天井部の木製梁に、大きな割れが発生しました。割れ幅は10ミリ程度で貫通している部分があり、長さは約2メートルに及びます。

1月11日の全員協議会で説明を求めたところ、梁の性能低下や積雪荷重の解析結果が報告され、安全性が確保されていることが確認されました。原因の確定と修繕が完了するまでは、念のためサポート支柱を入れて対応することとし、これまでの経過や今後の方針、設計施工業者の対応などの質疑が行われました。

その後、1月16日に現場視察を行いました。



修繕前



修繕後

1月18日と19日に施工業者により、補修工事が行われました。工事の内容は、割れの大きな部位に樹脂を注入して部材の一体化を図り、樹脂アンカーやビスで固定させる方法です。

1月30日には、補修状況を確認するために現場を視察し、補修部署の確認と今後の経過観察について説明を受けました。

その後、議員間での協議が行われ、町民の不安を払拭するために、議会の総意として、町に申し入れをすることとしました。

2月7日に、正副議長が金平町長に、文書で申し入れをしました。内容は質問形式で左記のとおりです。

町への申し入れ事項

- 1 町民に対して安全の根拠を示す情報が不十分である。直接説明をして、安全宣言をする用意があるか。
- 2 木材を活かしたコンセプトの設計は理解するが、割れに対してはどう考えているのか。今後の景観回復をどのように図っていくのか。
- 3 今後の工事発注においてはトラブル発生時の対応について、沼田町と設計施工業者との間で、より詳細な契約を結ぶ必要があるのではないのか。

自治振興協議会との懇話会

12月5日

自治振興協議会との懇話会が開催されました。

各町内会から出された町に対する要望事項と、その回答について議論を行いました。その中でも「秩父別沼田間の道道の防雪柵の設置」と「道道の歩道の未設置区間」について議論が集中しました。

道道の防雪柵については、設置場所が秩父別町であり、地元への承諾が取れない状況が続いています。今後は深川警察署管内の交通安全協会などを巻き込んだ、住民運動が必要と考えます。

町道(すみれ団地から除雪センターの間)の歩道設置については町民体育館、宿泊施設、総合運動公園を結ぶ道路で、安全確保のために歩道が必要ではないかとのことです。

町の回答では排水があり歩道を設置するには多額の費用が掛かり、現段階での事業実施は難しいとのこと

です。

その後JR問題についても意見交換がなされ、JR北海道より提示されている資料を基に議論を行いました。

協議会からは「通勤や通学、高齢者の交通手段としてJRは必要である」と強い要望が出されました。現時点では、まだ進展がない状況ですが、利用頻度を上げる活動を展開しながら、粘り強い交渉が必要との認識で意見が一致しました。



熱の入った議論がされました

町長への一般質問

問 農産加工場の製品品質の確保は 答 コーミ(株)からの指導を仰ぐ



高田 勲
議員

います。その結果、当然ですが管理する項目も増えていると思います。製品品質を含め、生産管理に携わる専門の技術スタッフが必要ではないのか。

問 11月3日に農産加工場のトマトケチャップ製造工程で、異物混入の事案が発生しました。12月1日にライン改修を行い、5日より生産を再開しているが、どのような改修を行ったのか。

職員の資質と意識向上のため、教育を実施したとあるが、どのような内容か。今後も継続する必要があると考えるが、定期的に実施するのか。

以前と比べると工場が変わり、求められる品質レベルは高まっています。原材料の1日の処理量も増えており、製品の種類も増えて



今回の異物混入事案につきまして、

関係者各位、消費者の皆様、トマト生産者の皆様には多大なご迷惑をおかけし、お詫びを申し上げます。

ケチャップのもとになるピューレの製造段階で、ゴム片が混入しました。業務提携をしているコーミ(株)からの指導のもとで、2カ所にメッシュフィルターを設

置し異物混入を防止する対策をとりました。

職員の教育は、製造品質と商品管理について行いました。今後も深川保健所やハサップ指導機関から、衛生管理に関する指導を受ける予定です。

今回の事案で専任の技術

問 エコタウン構想の今後は 答 国の支援や町の財政を勘案して行う



久保 元宏
議員

問 コンパクトエコタウン構想は、全て実施すると62億円規模の計画です。平成29年度は「まちなか」や「安心センター」など、計画ベースで24億円の工事が完了しました。今後の展開計画と財源はどうなっているのか。

「安心センター」と「まちなか」は離れた場所に建設されました。これらの間

スタッフが必要と考えていますが、適した人材が簡単にはいないのが実情です。当面はコーミ(株)からの指導を仰ぎながら、内部のレベルアップを図っていきませう。専任スタッフについては、人材確保に努力して参ります。

には、「観光情報プラザ」や「JR駅」などの既存のインフラも存在します。今後、駅前通りや本通り商店街と両施設を、効果的につなげるための計画はどうなっているのか。

安心センターを利用する町民からは、トレーニングルームの利用時間の延長や、更衣室の設置を望む声もあります。広聴活動を行い住民意見を反映すると言いつ、エコタウン構想の基本姿勢に立ち返り、どのように対応していくのか。



コンパクトエコタウン構想は、将



トレーニングルーム

来的に住民が安心して暮らせるための計画です。国の地方創生の実施状況や町の財政状況を勘案しながら提案をして参ります。

「安心センター」と「まちなか」の間を、歩いて暮らせるまちづくりが目標です。平成26年度から町が支援している商店街活性化事業補助金を利用して、目的を達成するための取り組みを、商工会や商店街と共同で行ないたいと考えています。

箱物整備が一段落して、いくつかの改善点が寄せられています。出来ることから実施するように、新年度の計画を策定中です。来年度は第6次総合計画を策定する年になります。今までワークショップで寄せられ、蓄積された意見を反映させながら、計画の策定を行います。

問 給食費・水道料金の無償化による子育て支援を

答 子育て支援の充実を図りたい



之 範 野 鵜 議員

保護者のニーズをどのように把握されているか聞きたい。



子育て支援については「保育料軽減政策」は利用者が多く成果が出ていると思います。平成31年度から完全無料化になるとすれば、それを有効な子育て支援に回すと言

問 沼田町の重点政策に子育て支援政策があり「子育て日本一」を目指して、皆さんの事業に取り組んでいきます。その中でも予算規模の大きい「保育料の軽減事業」がありますが、平成31年度からは国の「幼児教育無償化」により他町村との差別化が無くなります。

今後はさらに子育て政策の充実を図るうえで、インパクトある事業が必要で、「給食費の無償化」「水道料金の補助」などにも来年度から取り組めないか。

また「子どもの遊び支援事業」について、



びびびクラブ

す。

平成30年度予算編成の中で子育て支援の必要性を認識し、議論している段階です。

「子ども遊び支援」については子どもを安全で安心して遊べる公園と施設がなく、冬期間の屋内での遊ぶ

場所がないと聞いています。お母さん達がストレス無く安心して子育て出来る環境が必要と、今年3回事業を実施しました。その中で、

たくさん意見を頂き、子供を預けやすい環境や経済支援策などを内部で検討しています。

問 園芸のハウスの助成をしては 答 他町や農協と調整して進めたい



聡 峯 小 議員

に変わります。米の需給は安定しないと予想

されるので、米価も安定しないと考えられます。農家が余力のあるタイミングで園芸ハウスの増棟、更新の誘導が一番良いと考えます。

園芸作物の振興のために現在取り組んでいる農業者にも、条件をつけずに増棟、更新の助成が必要だと考えるかどうか。

問 現在、農業総合対策の中で一定の条件で園芸作物導入や、ハウスの増棟に助成があります。北いぶき農協の第6次地域農業振興計画の中で、ハウスの新規導入又は更新で助成が計画されています。農協で助成すると言ふ事は重要な事であると考えています。来年からは水稲の作付面積を農家が判断する仕組み



園芸ハウス導入支援事業を30年度より実施したいと言ふ事でJA北いぶきより支援要請がありました。3町の行政

の調整を図りつつ進めたい。現在、沼田町だけが園芸ハウスの導入支援策を行っています。他町の町長とも具体的に調整はしてありませんので、細部の調整をし、今行っている支援事業も含めて、検討をして行きたいと考えます。



イチゴハウス

問 歩道整備を計画的に

答 総合的に判断していきたい



誠 原 議員 長

問 12月5日町議会と自治振興協議会との懇話会が開催されました。

平成29年度に各行政区より、町への要望が50件出されました。年度内対応が22件、次年度対応が12件との報告がありました。

対応未定が14件あり、自治振興協議会として強く要請していた案件が歩道の整備です。

2路線あり、すみれ団地より町除雪センターまでの町道と北中央道路信号より旭町踏切までの歩道整備です。

この区間はスクールゾーンから外れていること、利用する歩行者が比較的少ないことから、交付金の対象にならず整備が難しいとの回答がありました。

特にすみれ団地より、沼

田3の町道(町道原野西線)は道路幅も狭く危険度の高い道路ですが、最近ウォーキングされる人がこのルートを多く利用しています。

町はこの路線沿線に安全啓発ののぼりなどを設置して対応しています。

整備にかかる建設費が大きいならば、年度に分けて計画的に歩道を整備すべきと思うが、考えを聞きたい。



冬は狭い



この路線は農地に隣接しており、

農業用水があるため現状の道路敷地内での整備が困難です。整備には用地の取得が必要で事業費が1億円程度かかります。通学路から



国会議員と北海道と本州の農業の

外れるため、社会資本整備交付金の活用ができません。今後、補助事業に乗せることも含め、総合的に判断し段階的に検討していきたい。

問 町の農業政策を国に訴えは

答 北海道農業の考えを示したい



雄 本 邦 議員 杉

問 今回の国の農業改革は規制改革により大幅に見直しをすることで、農業を成長産業に変えようとしています。農業改革関連は8法案、改革の柱となる農業競争力強化法など3法案が成立しました。

その内容は本州型の農業を主体としたもので、北海道農業を理解しているとは思えないものです。

本町は第9次農業振興計画を策定し推進しているが、

その経過や努力している姿を国や関係団体に具体的な数値を持ち示すべきです。

農業者が一丸となって課題を検討し北海道、空知の農業政策提言をすべきではないか。

また、農業委員会会長の農業改革の考えを聞きたい。攻めの農業として6次化に向けての国内外の販売戦略を働きかけてはどうか。

道内選出議員と共に、我々が訴えていく必要を感じています。農林水産省への要請などは、具体的な数値をもって取り組むべきだと思います。

6次化、2次加工の問題など行政のみでなく、JAとも協議し取り組んでいきたい。

農業委員会会長

新たに出された農業競争力強化支援法が北海道農業に則したものを検証します。

5月の全国大会に合わせた中央要請に北海道農業に近づけた行動を行って行きます。

杉本議員のその他の質問

問 地方議員の所遇改善(厚生年金選挙費支援)を

答 制度化に向けて国に働きかける必要がある

問 沼田農業の展望は

答 重点的に取り組む



津川 均
議員

問 今年の農産物販売状況は収量、価格とも良く農家経済の潤った年となりました。

しかし農業政策は決して楽観できるものではなく、水稲農業においては戸別所得補償も打ち切られ、これに換わる政策はいまだに出されていない状況です。農地売買の移動も比較的問題なく進められているが150戸で維持していくのも限界にきています。と考えます。将来荒廃農地

を出さないためには「労働力の確保」「農作業受託の確保」「農地の集約」などの方策が早急に求められています。

それらの問題の解決を役場や農協ではなく第三セクター的な対策室が必要と思うが見解を聞きたい。



秋の収穫作業



沼田農業の柱の水稲を中心課題

の解決に取り組んでいます。特に、労働力の確保、それを補う受託作業、農地の集約による経営のコスト削減など必要だと思います。さらに、農業後継者、新規就農者、農業研修生の確

問 冬期間の光熱費支援を

答 福祉灯油に限って対応したい



大沼 恒雄
議員

問 総務省統計局調べでは、北海道の冬期間の光熱費は電気代20%、ガス代50%と夏場より高くなります。

家庭暖房の主流は石油ストーブで80%が灯油に頼っています。灯油価格が高騰している時は町も福祉灯油として支援していましたが平成28年、29年は出ていません。

保、法人による雇用規模拡大など、今後を見据えて政策の準備が必要と考えます。これらを解決するために、こういった組織にするか農協と、他の関係機関を含めて議論をして行きたいと考えています。

町民が安心して快適に冬を暮らせるよう福祉灯油も含め全世帯を対象に支援を求めたいと思います。町長の考えを聞きたい。



福祉灯油に関して今までは単価100円を目安に考え、12月から3月までの実勢価格1000ℓを支給してました。

28年度から支給を見合わせていたので、29年度は予算組みを



していませんでした。全世帯に支援は無理ですが、灯油などは価格上昇の傾向にあるので、福祉灯油に限っては今年度も含め対応したいと考えます。



灯油高騰、家計に優しい支援を

問 巡回バスの運行時間の延長を

答 新たな公共交通のあり方を検討



橋場 守
議員

あり、制約があります。

現状では時間の変更、臨時運行について、難しいと思います。

不便を掛けていますので、新年度に向けては利用しやすい新たな公共交通のあり方を検討しています。

問 市街地の巡回バスは玄関先まで送迎することができないが、お年寄りの人達に喜ばれています。

しかし、運行時間が14時30分までなので、それ以降利用できません。運行時間を延ばせないか、また事前に申請したら、臨時運行するようにできないか。



運行
時間

についてはスクールバスとその他の業務の関係が



利用の増える巡回バス

橋場議員のその他の質問

問 国道・道道の道路工事の仕上がりが悪いときは注意すべき

答 北海道建設管理部に対応を要請しています。

問 支援総合事業の実施状況は

答 平成30年度からすべての方を総合事業に移行します。従来どおりのサービスになっています。

教育長への一般質問

問 スキー場の利用促進を

答 存続させたい施設です。

津川 均 議員

問

去年よりも高穂スキー場の輸送人数が10%減って4万6780人で、1日平均754人の輸送人数です。

深川のスキー場が閉鎖されたことを考えると、高穂スキー場の利用人数が少ないと思います。

今年度は1100万円の予算を見えますが、今後利用者が減ったら、閉鎖する考えはあるのか。

町民や北空知圏内の冬ス

ポーツの中心として、利用者を増やし続ける気持ちでいるのか考えを聞きたい。

教育長

高穂スキー場は雪国沼田のシンボルの施設で、町民のレクリエーション、生涯スポーツ、学校教育施設として位置付けられています。

冬期間のスポーツの場、雪国の子どもだから出来るスキー授業など、雪と触れ合う環境づくりは、今後重要な取り組みと認識しています。



高穂スキー場リフト

安全性を第一に維持管理をします。利用者の動向や事業を勘案しつつ、町営高穂スキー場を存続させたい施設であると考えています。



総務民教常任委員会 所管事務調査報告



施設のトータル
マネージメント

委員長 久保 元宏
副委員長 鶴野 範之
委員 杉本 邦雄
大沼 恒雄
高田 勲

報告書

沼田町は今年、商業と福祉の施設を2つ新築した。これらも含む全施設を活用した町民サービスの充実が期待される。同時に、人口減少により町民ひとり当たりの施設の総床面積が増大したため、使用目的が重複する施設や、PR不足、さらに時代のニーズに合わないなど、全施設の利用率が低下する傾向にある。当委員会が広く町内外の調査を行ったところ、沼田町の全施設の更新は不可能であることを確認した。課題は、どの施設を更新し、どの施設を廃止するか判断と、その根拠に基づく町民の合意形成である。一方、沼田町は平成16年度から取り組んだ財政再建計画により、繰り上げ償還も進み、実質公債費比率や将来負担比率が良い傾向にある。

より効果的な投資のためにも、施設への緊張感を持

1) 公共施設マネージメント部門の強化により、「5年後の沼田町」の見える化

施設カルテの普段の更新により常に精度を高くして、コストやライフサイクルなどの試算に活用する。財務会計システムの施設コードに日々、入力することで個別の施設、事業ごとの財務諸表を作りカルテと連動させ、公開し活用する。

2) 施設の可能性の掘り起こしと、PR

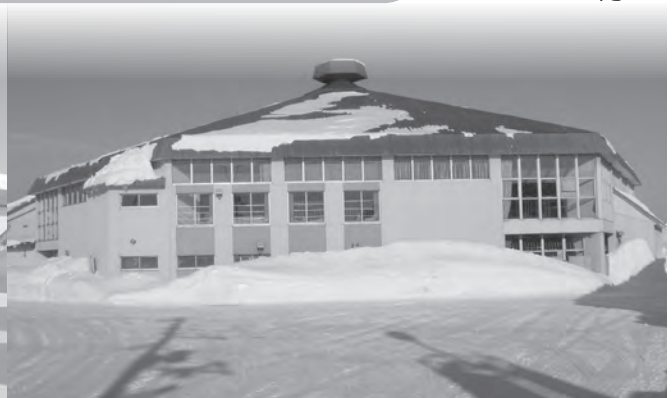
現在ある施設がフル活用されているか、マン・パワー不足などによる未使用のスペックは無いかな。それらを洗い出し、使用目的の変更や、他市町と広域で相互利用できないか、などに取り組むべきである。新しい投資は、現在の施設の欠落を埋める場合にのみ根拠が発生すると考えられる。

3) 施設カルテから、施設の更新や廃止の計画を立てる

昭和45年以前の老朽施設や、不要施設、大型施設の建設が昭和47年の町民体育館や昭和56年の幌新温泉平家の館なども含め、期限を決めて計画すべきである。

った取り組みが必要だ。ハードの根拠は、ソフトであり、選択と集中が求められる今、目標を立て、施設のトータル・マネージメ

ントをコンパクト・タウン構想の根拠にすべきと考える。左記3点の意見を示し、調査報告とする。





平成28年度 決算



全会一致で認定される

10月19日～24日

決算特別委員会 委員長 高田 勲
副委員長 大沼 恒雄

一般会計

歳入決算額 60億6764万円
歳出決算額 59億4309万円
実質収支額 1億295万円
町債残高 28億9743万円
基金残高 30億5488万円

1日目

各課説明・質疑 質問 24問中 2問掲載



高田議員

問

厚生クリニック
町立診療所としての独自性は医療機関を維持するために、厚生連と話し合いをしている。厚生連の就業規則上の検討課題もあるが町民の意見は伝えている。



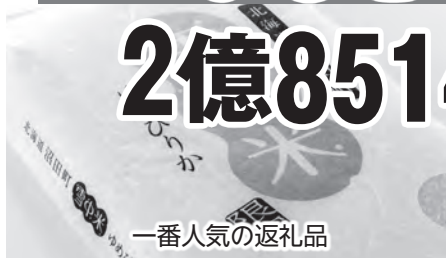
小峯議員

問

高齢者のハイヤーチケット事業
ニーズに合わせた配布となっているのか
町民にとっての利便性を論議していきたい。
根本的に改善したいと思う。

感謝ふるさと納税

2億8514万円



2日目

各課説明・質疑 質問 26問中 3問掲載



杉本議員

答

重要書類の保管は各課で行っているが、担当者が変わると経過の説明は難しい。研究のための時間をいただきたい。



大沼議員

答

305トンの生産があった。栽培技術の向上と努力の成果と思う。単価も含め慎重に検討したい。



杉本議員

問

婚活支援事業にJAの協力を求めている。農業関係の人集めは、農業青年部に頼んでいる。結婚に繋がられるよう取り組みたい。



トマト生産

4 日目

各課説明・質疑 質問 4問中 2問掲載



高田議員

答 問

安心センター2期工事
交付金減の情報収集は戦略交付金を使っている町村が無く、情報も乏しく、国の動向を掴めなかった。
この経験を次に活かしたい。



長原議員

答 問

自動車学校の合宿免許利用者をほたる館の利用増に
利尻と稚内の方が利用していて、1泊3食付の料金を設定している。準中型免許の営業をして、深川との差別化を図っている。

3 日目

各課説明・質疑 質問 26問中 3問掲載



久保議員

答 問

地域提案型事業を執行しやすい内容に
使い勝手もあるが、食料費などのルールは必要。意見要望を聞きながら自治振興協議会とも協議して、改善していきたい。



杉本議員

答 問

ふるさと資料館条例の遵守を
展示物の一部は、ほたる学習館に移設して展示している。
軽費は事務局費に組み替えしている。



久保議員

答 問

まちなか英語空間事業の充実を
3名の講師はボランティア。
中身の濃い事業なので、資料代などの予算化を検討したい。

質問総数80問中、総括質問10問を掲載しています。

28年度 沼田町一般会計歳入歳出決算認定意見

町立厚生クリニックの運営について

指定管理者である北海道厚生連と連携をし、運営形態を町が積極的に提案し町民が親しみながら利用できる環境を構築することを望みます。

重要書類の管理保全と事務引き継ぎの徹底について

町の管理する重要書類は、契約・覚書・申し合わせなど諸般に渡って多様化で複雑化しています。

重要文書の分類管理・保全をデジタル化し、スピーディーな事務引き継ぎが出来るよう望みます。



厚生クリニックの待合室



清掃ボランティア活動

地域提案型まちづくり事業の充実について

協働のまちづくりの発想から発展した本事業は、地域コミュニティの形成に欠くことの出来ない事業です。

事業の活性化を図るために、複数年にわたる継続事業を認め、地域担当職員制度を発展させ、関与した中での展開を望みます。

28年度 沼田町水道事業会計歳入歳出決算認定 意見

平成28年度は水道事業の効率を示す有収率が、前年の84.1%から81.8%となり指数の後退が見られたが、8年連続での有収率80%以上は評価するところです。

今後も効率的な配水管の設備改修に努め、適切な維持管理を望みます。

監査委員からの指摘にもあるように、今後人口減少に伴い水道事業にも厳しさが増してくることが予測されます。北空知広域水道企業団より示されている長期財政計画を念頭におき、より一層の健全な事業運営に努めることを望みます。

総 括

当委員会では予算が適正に執行されているか、期待した行政効果が得られたか、改善を要する点は何かなどに主眼をおいて慎重に審議した結果、4点に対し意見を付け認定しました。

空知町村議会議長会10年勤続表彰

この度、渡邊議長、高田副議長が北海道町村議会議長会表彰を授賞されました。両氏ともに議員10年以上による受賞であります。



産建福祉常任委員会、総務民政常任委員会による行政視察を行いました。合わせて社会福祉協議会役員も同行し、建設課より安心センター屋内梁部へのひび割れの状態、それまでの経過説明を受けました。早急な対応を指示しました。



議員セミナー

1月16日

あとがき

スマートホンの普及は近年急激に進んでいます。

若い世代はもちろん中高生、小学生の一部にも及んでいます。

また、年配者向けのスマートホンも発売され年齢に関係なく普及しています。我々議会でも80%以上の普及率です。利用の仕方では大変便利なアイテムですが、マナーの悪さなど近年は社会問題になっています。

「歩きスマホ」や「スマホ依存症」などの言葉も言われています。車の運転はもつての外です。

学校などではルールを決め使用しているようですが、我々も社会人としてのマナーをもってスマートホンを利用したいものです。

- 広報特別委員**
 大沼恒雄 高田 勲
 小峯 聡 長原 誠
 鵜野範之

みんなの広場

こんにちは!



ALT(外国語指導助手) デイビット

Hello everyone! My name is David Lynch. Nice to meet you!
 First of all, I want to thank you for welcoming me to your town. I moved to Numata from Fukagawa in the summer and I have felt very welcome and enjoyed many aspects of this beautiful town. Thank you very much! I look forward to earning more and more about Japanese life and people and traditions. Please teach me, ね。
 I come from Ire and, a beautiful island in the west of Europe. It is about the same size as Hokkaido, but with fewer people. I hope you will come to visit some day. Irish people are kind and welcoming and we like beer and whiskey, just like Japanese people. I have traveled to many countries, and I have lived for a short time in Australia and Cambodia. But I have never felt as at home in a country, as I have felt in Japan. ありがとうございます! 宜しくお願ひ致します! I look forward to getting to know you and I hope we can learn something new together.

皆さん、こんにちは! 初めまして! リンチ、デイビットです。

沼田に来させて頂きお礼を申し上げます。私はこの夏に深川から沼田に引っ越してきました。

そして、この美しい沼田町でたくさんの事をたのしむことが出来暖かい気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。更に、日本の生活や歴史、伝統について学ぶのを楽しみにしています。おしえて下さいね。

出身はアイルランドです。それはヨーロッパのきれいな島です。北海道と同じぐらいの大きさですが人口は北海道より少し少ないです。今度きて下さいね。日本人と同じ様にアイルランド人は親切で優しいです。そして、私達もビールとウィスキーが大好きですよ。

いろいろな国へ行ったことがあって、オーストラリアとカンボジアに少し住んでいました。でも、自分の故郷にいるような気持ちになったのは日本が初めてです。

Thank you very much Lets work well Together. 皆さんにお会いしてたくさんのを一緒に学ぶのを楽しみにしています。